



第 44 期 事 業 報 告 書

コカ・コーラウエストジャパン株式会社



代表取締役  
社長兼CEO

末吉紀雄

### 企業価値創造経営の実践

清涼飲料各社が、生き残りをかけて市場シェア拡大のための激しい競争を続ける中、当社は、経営理念「**Our Total Happiness**」のもと、「強いアンカーボトラー、強い会社」を目指すべく「企業価値創造経営」に取り組んでまいりました。

「強いアンカーボトラー、強い会社」を実現するための政策の一環として、平成13年4月に、三笠コカ・コーラボトリング株式会社の過半数の株式を取得し子会社化するとともに、平成14年1月31日をもって株式交換を行い、当社の完全子会社といたしました。加えて、広域ボトラー体制の構築に向けた活動として、近畿コカ・コーラボトリング株式会社との協働プロジェクトを推進してまいりました。

販売面におきましては、以下に述べますように種々の販売活動に注力した結果、連結決算ベースの経営成績は、売上高は前期比8.8%増の2,261億1千1百万円となりましたが、営業利益は前期比4.7%減の166億3千4百万円、経常利益は前期比13.5%減の160億2千1百万円となりました。なお、当期純利益につきましては、退職給付会計基準変更時差異を全額償却したことなどの特別損失を計上したことにより、前期比75.1%減の14億2千万円となりました。

### 営業活動とその成果

最盛期である夏場は天候にも恵まれ、売上は順調に推移したものの、秋口以降は消費低迷の影響を受け、厳しい市場環境となりました。

このような環境のもと、基幹ブランドであるコカ・コーラは、「No Reason Coca-Cola」キャンペーンの展開が功を奏し、コカ・コーラを飲みたいという消費者の気持ちを喚起することに成功し、売上げの増加とマーケットシェアの拡大に結び

つきました。ジョージアにつきましても、「明日があるさ」をテーマとしたキャンペーンが一大ブームを巻き起こし、ジョージアブランドの認知度の向上と地位の確立に貢献いたしました。

一方、新しい市場の創造と競争力強化のために、コカ・コーラ400mlボトル缶、ジョージア ザ・コロンビア190g缶など75品目の新製品を投入いたしました。また、「コカ・コーラハリー・ポッタープロモーション」および「ジョージア・あした色の、コートプレゼント」などの各種プロモーションを実施し、売上げの拡大をはかりました。さらに、平成13年7月に福岡市で開催された「第9回世界水泳選手権大会福岡2001」においては、大会公式スポーツ飲料であるアクエリアスの限定記念缶の発売や世界水泳応援グッズプロモーションなどの販売活動を展開し、アクエリアスブランドイメージの向上と売上げの増大をはかりました。

### 生産力の強化と生産性の向上

生産面におきましては、投資額抑制と操業度の向上を目指し、近畿コカ・コーラボトリング株式会社、四国コカ・コーラボトリング株式会社および当社の3社が共同で、四国コカ・コーラボトリング株式会社の小松第2工場にボトル缶の製造設備を増設し、コカ・コーラ400mlボトル缶の生産を開始いたしました。また、小型PET製品の需要増に対応し、基山工場に小型無菌PET充填設備の導入に着手いたしました。

### 平成14年12月期の経営としての取り組み

引き続き厳しい経済状況が続くものと予想される中であっても、当社はグループ一体となって、これまで以上の成長機会を持つポトラ体制の構築に努めてまいります。

平成14年4月には、当社と100%子会社である地域販売会社2社との合併を行い、営業の強化と経営体制の効率化を推し進め、成長と拡大を確固たるものいたします。また、製造部門におきましては、品質、コストの両面において他社に負けないローコストプロデューサーを目指し、平成14年2月1日付で、製造専門会社としてコカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社(平成14年4月1日付でウエストジャパンプロダクツ株式会社から商号変更予定)を設立いたしました。さらに、ワンボイス化、専門機能の強化ならびに管理・間接部門の集約による効率化をはかるため、物流・自動販売機関連サービス等同一事業を運営する子会社を統合いたします。

こうした取り組みにより、この激動の時代においても強く揺るぎない経営基盤と成長力の確立に全力をつくし、株主のみなさまに評価される会社を目指してまいります。

なお、当期の期末配当金につきましては、株主のみなさまのご支援にお応えすべく1株につき18円とし、中間配当金を含めました年間配当金は、前期に比べ2円増配の34円とさせていただきます。

また、平成14年3月1日付で私、末吉紀雄が代表取締役、社長兼CEOに就任し、新しい経営体制となりました。厳しい経営環境ではありますが、強く揺るぎない経営基盤と成長力を確立すべく鋭意努力する所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 拡大と効率化を目指すグループ再編

どのような環境下にあっても常に競合他社に対し競争優位性を持つ「強いアンカーボトル、強い会社」を実現するために、当社の最大の強みである営業力のさらなる強化と経営体制の効率化を推し進めてまいります。

### 商品戦略

- ジョージアの徹底強化
- コカ・コーラの活性化
- 無糖茶の拡大・強化
- スポーツ / 果汁 / 水 / 炭酸市場での  
圧倒的地位獲得
- 小型PET / ボトル缶の徹底強化

# 拡大

[ 1本でも多く ]



### チャンネル 戦略

- スーパーマーケットにおける競合からの  
シェア獲得
- コンビニエンスストアにおける競合からの  
シェア獲得
- 自動販売機マーケットの戦略的拡大

**営業強化・拡大の推進**、すなわち「1本でも多く売る」活動については、まず当社と地域販売会社である山陽コカ・コーラセールス株式会社、北九州コカ・コーラセールス株式会社の3社を合併することにより、コカ・コーラウエストジャパングループが成長・拡大するための戦略立案機能と販売機能を一体化させ、迅速な戦略の立案・実行を徹底します。さらにグループ内においては、山陽キャンティーン株式会社、北九州キャンティーン株式会社、株式会社エフ・ヴィ西日本、株式会社アコナビディングの4社を統合し、強力なベンディングセールス専門会社として、当社とともに「1本でも多く売る」活動を徹底追求いたします。

- ▶ ボトル缶ラインの導入(鳥栖工場)
- ▶ 小型無菌PETラインの導入(基山工場)
- ▶ 製造専門会社「コカ・コーラウエストジャパン  
プロダクツ株式会社」の立ち上げと効果の実現  
ローコストコストプロデューサー

製造

物流

- ▶ 他のコカ・コーラボトラーとの協働  
による西日本需給機構の設立
- ▶ 新立体自動倉庫の新設(本郷工場)
- ▶ 新広島営業拠点の開設

# 効率化

[ 1円でも安く ]

調達

- ▶ コカ・コーラビバレッジサービス  
株式会社による共同調達
- ▶ 他のコカ・コーラボトラーとの  
共同調達の推進



**効率化の推進**、すなわち「1円でも安くつくる」活動については、調達・製造・物流の3つの観点での効率化がキーポイントになります。まず調達面においては、コカ・コーラビバレッジサービス株式会社や他のコカ・コーラボトラーとの共同調達を推進してまいります。製造面においては、コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社の設立により品質・コストの両面において競合他社に負けないローコストプロデューサーを目指します。物流面においては、より一層の効率化をはかり競争優位性を確立すべく、他のコカ・コーラボトラーと協働で「西日本需給機構」を設立し、西日本エリアにおける最適生産・最適物流を推進するための取り組みを開始いたしました。さらに、グループ内での取り組みとして、北部九州3県を担当する北九州コカ・コーラベンディング株式会社の中国5県への事業拡大によりベンディングオペレーションの効率化を推進するとともに、山陽カスタマーサービス株式会社と九州自販機サービス株式会社の2社を統合し、自販機関連サービス機能をさらに強化いたします。物流面においても、さわやかサービス株式会社とロジコムジャパン株式会社の2社を統合し、「1円でも安く運ぶ」体制をつくりあげます。

新 製 品



平成13年度の主な新製品



平成14年度の新製品

プロモーション活動



ジョージア・あした色の、コートプレゼント



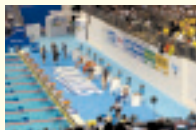
コカ・コーラ桑田佳祐Xmas LIVE in札幌ペアチケットプレゼント



コカ・コーラハリー・ポッタープロモーション

## 地域社会貢献活動

当社は、「地域社会とともに」を基本姿勢に、「社会福祉支援」「スポーツ活動支援」「文化活動支援」など、地域社会に対する貢献活動を実施しております。



第9回世界水泳選手権大会  
福岡2001

平成13年度の主な活動内容としては、「第9回世界水泳選手権大会福岡2001」、「山口きらら博2001」の地域大型イベントに協賛し、地元企業として積極的な活動を行いました。また、例年

実施しております公立の特殊学校へのパソコン等の教材贈呈、小学校への一輪車贈呈、「コカ・コーラウエストジャパンカップ少年サッカー大会」および「コカ・コーラウエストジャパンファミリーミュージカル」の開催等の活動を行い、地域社会のみならず好評をいただいております。

当社は地域企業としての役割を十分認識し、今後も地域社会に対する貢献活動を実施してまいります。



山口きらら博2001

## 地域環境対策活動

当社は、「環境好感度No.1企業へ」を基本理念に、環境美化・環境保全・資源のリサイクル等の活動を実施しております。



北九州博覧祭 2001

平成13年度の主な活動内容としては、北九州市で開催された「北九州博覧祭 2001」において、子どもたちが自然の摂理、循環の仕組み等を実体験として学んで

いく施設「こどもエコ広場」を提供いたしました。また、公園内の池や湖などに植物や花を植栽し、緑と昆虫や小動物が共生する環境を創出する人工の浮島「ビオトープ浮島」を広島市、岡山県児島郡に設置いたしました。

当社は、今後とも責任ある企業市民としての自覚のもと、環境に配慮した事業活動を推進し、社会とお客さまからの信頼を得るための活動を行ってまいります。



ビオトープ浮島

連 結 貸 借 対 照 表

(単位 百万円)

科 目	期 別	第43期 (平成12年12月期)	第44期 (平成13年12月期)
(資産の部)			
流動資産		94,534	72,348
現金及び預金		24,634	23,863
受取手形及び売掛金		10,296	12,172
有価証券		40,680	14,648
たな卸資産		9,681	12,776
繰延税金資産		1,344	1,678
その他の流動資産		8,021	7,388
貸倒引当金		125	178
固定資産		87,103	130,364
有形固定資産		77,241	88,290
建物及び構築物		17,664	19,212
機械装置及び運搬具		12,065	12,674
販売機器		18,668	17,270
土地		27,788	36,662
建設仮勘定		41	1,339
その他の有形固定資産		1,013	1,131
無形固定資産		2,064	5,580
連結調整勘定		-	1,861
その他の無形固定資産		2,064	3,718
投資その他の資産		7,797	36,494
投資有価証券		4,458	30,002
繰延税金資産		1,132	4,100
その他の投資その他の資産		2,206	2,512
貸倒引当金		-	120
資産合計		181,637	202,713

流動資産

流動資産は22,186百万円減少しております。これは主として有価証券の減少によるものであり、金融商品会計適用による投資有価証券への振替を行ったためであります。

固定資産

固定資産は43,261百万円増加しております。これは主として三笠コカ・コーラボトリング株式会社の新規連結に伴う増加と投資有価証券の増加によるものであります。投資有価証券の増加につきましては、金融商品会計適用による有価証券からの振替を行ったためであります。



(単位 百万円)

科 目	期 別	第43期 (平成12年12月期)	第44期 (平成13年12月期)
( 負 債 の 部 )			
流動負債		19,775	25,605
支払手形及び買掛金		6,422	8,093
短期借入金		1,216	806
1年以内に返済する長期借入金		49	384
未払法人税等		2,540	3,671
未払金		4,438	6,558
設備支払手形		1,260	1,138
その他の流動負債		3,847	4,952
固定負債		4,204	12,419
転換社債		2,154	2,154
長期借入金		62	21
繰延税金負債		-	1,784
退職引当金		370	-
退職給付引当金		-	6,783
役員退職引当金		622	490
その他の固定負債		995	1,186
負債合計		23,979	38,025
( 少 数 株 主 持 分 )			
少数株主持分		53	7,558
( 資 本 の 部 )			
資本金		15,231	15,231
資本準備金		29,687	29,687
連結剰余金		112,685	111,586
その他有価証券評価差額金		-	628
自己株式		0	4
資本合計		157,604	157,129
負債、少数株主持分及び資本合計		181,637	202,713

**流動負債**

流動負債は5,830百万円増加しております。これは主として三笠コカ・コーラボトリング株式会社の新規連結に伴う買掛金および未払金の増加によるものであります。

**固定負債**

固定負債は8,215百万円増加しております。これは主として退職給付会計適用による退職給付引当金の計上によるものであります。

**資本の部**

資本の部はほとんど変動しておりません。株主資本比率は86.8%から77.5%に低下しましたが、依然として優良な財務体質を有しております。

連 結 損 益 計 算 書

(単位 百万円)

科 目	期 別	第43期 (平成12年12月期)	第44期 (平成13年12月期)
売上高		207,827	226,111
売上原価		110,876	122,504
売上総利益		96,951	103,607
販売費及び一般管理費		79,501	86,973
営業利益		17,449	16,634
営業外収益		2,140	1,342
受取利息・配当金		621	479
その他の収益		1,518	862
営業外費用		1,074	1,954
支払利息		44	43
その他の費用		1,029	1,911
経常利益		18,516	16,021
特別利益		1,093	10,351
固定資産売却益		-	605
投資有価証券売却益		1,093	6
退職給付信託設定益		-	9,739
特別損失		9,312	24,234
固定資産売却損		-	77
投資有価証券売却損		-	50
地震災害損失		-	23
特別退職金		5,151	2,811
退職年金特別掛金拠出額		1,479	-
投資有価証券評価損		896	667
事業所閉鎖損		1,326	-
固定資産除却損		263	201
ゴルフ会員権等評価損		195	137
退職給付会計基準変更時差異償却額		-	19,930
退職給付信託設定損		-	332
税金等調整前当期純利益		10,297	2,138
法人税、住民税及び事業税		5,183	6,021
法人税等調整額		591	4,601
少数株主利益又は少数株主損失( )		3	702
当期純利益		5,700	1,420

売上高

売上高は18,283百万円増加しております。これは主として三笠コカ・コーラボトリング株式会社の新規連結に伴う増加および販売数量の増加によるものであります。

特別損失

特別損失は14,921百万円増加しております。これは主として退職給付会計基準変更時差異を全額償却したことによるものであります。

連 結 剰 余 金 計 算 書

&

連 結 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー 計 算 書

- 連結剰余金計算書 -

(単位 百万円)

科 目	期 別	第43期 (平成12年12月期)	第44期 (平成13年12月期)
連結剰余金期首残高		109,480	112,685
連結剰余金減少高		2,495	2,519
配当金		2,417	2,461
役員賞与		78	58
当期純利益		5,700	1,420
連結剰余金期末残高		112,685	111,586

- 連結キャッシュ・フロー計算書 -

(単位 百万円)

科 目	期 別	第43期 (平成12年12月期)	第44期 (平成13年12月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー		16,228	24,763
投資活動によるキャッシュ・フロー		9,310	15,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,719	3,126
現金及び現金同等物の増加額		4,199	6,629
現金及び現金同等物の期首残高		26,873	31,072
現金及び現金同等物の期末残高		31,072	37,702

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の収入は8,534百万円増加しております。これは主として営業収入が大きく増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の支出は5,697百万円増加しております。これは主として三笠コカ・コーラボトリング株式会社等を子会社化するための株式取得に要した支出によるものであります。

- 連 結 -

(単位 百万円)

区 分	第40期 (平成9年12月期)	第41期 (平成10年12月期)	第42期 (平成11年12月期)	第43期 (平成12年12月期)	第44期 (平成13年12月期)
売 上 高	115,408	117,991	164,731	207,827	226,111
営 業 利 益	10,737	12,533	15,160	17,449	16,634
経 常 利 益	11,054	12,510	15,889	18,516	16,021
当 期 純 利 益	5,428	5,872	6,823	5,700	1,420
1株当たり当期純利益(円)	124.27	122.20	113.67	77.82	17.62
総 資 産	98,445	102,278	182,316	181,637	202,713
純 資 産	82,807	87,298	154,395	157,604	157,129
1株当たり純資産(円)	1,895.49	1,816.64	2,107.74	2,151.52	1,950.07

- 単 体 -

(単位 百万円)

区 分	第40期 (平成9年12月期)	第41期 (平成10年12月期)	第42期 (平成11年12月期)	第43期 (平成12年12月期)	第44期 (平成13年12月期)
売 上 高	98,091	102,519	130,751	150,356	153,196
営 業 利 益	10,402	11,774	15,912	16,481	15,426
経 常 利 益	10,769	11,805	16,766	17,781	16,151
当 期 純 利 益	5,377	5,575	7,494	5,493	2,515
1株当たり当期純利益(円)	123.08	116.02	124.84	74.99	31.22
総 資 産	90,505	95,400	172,199	174,752	178,967
純 資 産	80,322	84,517	151,157	154,166	154,789
1株当たり純資産(円)	1,838.60	1,758.75	2,063.53	2,104.58	1,921.02

- 平成9年2月20日をもって、額面普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割しております。なお、第40期の1株当たり当期純利益は、期首に株式分割が行われたものとみなして算出してあります。
- 平成10年2月20日をもって、額面普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割しております。なお、第41期の1株当たり当期純利益は、期首に株式分割が行われたものとみなして算出してあります。
- 平成13年2月20日をもって、額面普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割しております。なお、第44期の1株当たり当期純利益は、期首に株式分割が行われたものとみなして算出してあります。

# 株 式 の 状 況 等

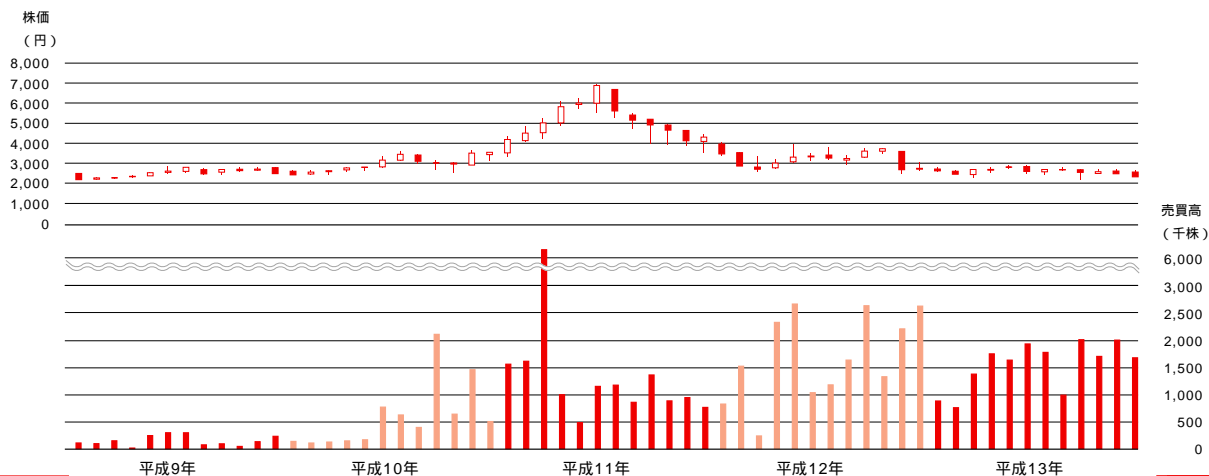
(平成13年12月31日現在)

会社が発行する株式の総数： 270,000千株  
 発行済株式の総数： 80,578千株  
 株主数： 10,693名

## 大株主：

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リコー	16,751	20.8
株式会社ニチレイ	5,300	6.6
財団法人新技術開発財団	5,294	6.6
コカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	5.1
株式会社福岡シティ銀行	3,701	4.6
モルガン信託銀行株式会社(非課税口)	2,544	3.2
福岡地所株式会社	2,225	2.8
ポストンセーフデポズィット ビーエスディーティートリーティー クライアンス オムニバ	1,690	2.1
昭和炭酸株式会社	1,644	2.0
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,624	2.0

## 最近5年間の株価および株式売買高の推移



# 会 社 概 要

(平成13年12月31日現在)

商号

コカ・コーラウエストジャパン株式会社

本社所在地

福岡市東区箱崎七丁目9番66号

設立

昭和35年12月20日

資本金

15,231百万円

従業員数

584名

主な事業内容

コカ・コーラ、スプライト、ファンタおよび  
ジョージア等の飲料の製造・販売

上場証券取引所(所属部)

株式会社東京証券取引所(市場第一部)

株式会社大阪証券取引所(市場第一部)

証券会員制法人福岡証券取引所

## 株主優待制度



毎年6月30日現在および12月31日現在の100株以上  
ご所有の株主さまに対し、ご所有株式数に応じて、下記の  
とおり「コカ・コーラギフト券」をそれぞれ同年9月頃および  
翌年4月頃に贈呈いたします。

「コカ・コーラギフト券」1枚でお好きなコカ・コーラ社  
製品350ml / 250ml / 190g缶6缶(720円相当)とお引換  
えいただけます。

贈呈基準		優待内容	贈呈時期
基準日	ご所有株式数		
6月30日	100株以上 500株未満	コカ・コーラギフト券 2枚(1,440円相当)	同年9月頃
	500株以上 1,000株未満	コカ・コーラギフト券 3枚(2,160円相当)	
	1,000株以上 5,000株未満	コカ・コーラギフト券 5枚(3,600円相当)	
	5,000株以上	コカ・コーラギフト券 10枚(7,200円相当)	
12月31日	100株以上 500株未満	コカ・コーラギフト券 2枚(1,440円相当)	翌年4月頃
	500株以上 1,000株未満	コカ・コーラギフト券 3枚(2,160円相当)	
	1,000株以上 5,000株未満	コカ・コーラギフト券 5枚(3,600円相当)	
	5,000株以上	コカ・コーラギフト券 10枚(7,200円相当)	

# 役員

(平成14年4月1日現在)

## 取締役

代表取締役	久保 長	会長
取締役	菅谷 國雄	特別顧問
代表取締役	末吉 紀雄	
取締役	新見 泰正	
取締役	池邊 賢一	顧問
取締役	浜田 広	株式会社リコー 代表取締役会長
取締役	手島 忠	株式会社ニチレイ 相談役
取締役	鈴木 朗以	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役筆頭副社長
取締役	井上 雄介	株式会社福岡シティ銀行 代表取締役副頭取

(注) 印の者は、執行役員を兼務しております。

## 監査役

常任監査役	藤野 忠雄	常勤
常任監査役	浜田 鴻之介	常勤
監査役	平川 達男	株式会社リコー 代表取締役副社長
監査役	中 脩治郎	株式会社福岡シティ銀行 相談役

## 執行役員

社長兼CEO	末吉 紀雄	
副社長	新見 泰正	広報室・環境対策室担当、財務企画本部長
副社長	西山 治宏	営業本部長
専務執行役員	森井 孝一	チェーンストア営業統括部長
専務執行役員	後藤 正純	品質保証室担当、生産本部長
常務執行役員	森田 聖	営業企画統括部長
常務執行役員	柴田 暢雄	総務人事本部長兼総務部長
常務執行役員	桂 淳治	営業本部長補佐 特命担当
常務執行役員	原田 忠継	システム本部長
常務執行役員	山崎 裕二	営業本部長補佐 特命担当
常務執行役員	佐古 幸男	ペンディング事業統括部長
執行役員	赤塚 莊太郎	業務部長
執行役員	中川 龍二	人事部長
執行役員	山崎 正雪	関連企業部長
執行役員	三宅 益男	佐賀・長崎営業部長
執行役員	池 龍彦	広域営業部長
執行役員	瀬戸 俊憲	パートナー推進部長
執行役員	小川 速雄	岡山営業部長
執行役員	野見山 昌三	広島営業部長

## 株主メモ

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	
・定時株主総会、利益配当金	12月31日
・中間配当金	6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めます。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 (〒540-8639) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求)	☎0120-175-417
(その他のご照会)	☎0120-176-417
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞



コカ・コーラウエストジャパン株式会社

*Coca-Cola West Japan Company, Limited*

〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号

TEL(092)641-8581

ホームページアドレス <http://www.ccwj.co.jp/>

この報告書は再生紙を使用しています。